

精神疾患とその治療

問題 1 次のうち、感覚失語に関連の深い部位として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 前頭葉
- 2 側頭葉
- 3 頭頂葉
- 4 後頭葉
へんとうたい
- 5 扁桃体

問題 2 次のうち、心因が主たる原因とされる精神疾患として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ピック病
- 2 統合失調症
- 3 小児自閉症
- 4 双極性感情障害
- 5 解離性(転換性)障害

問題 3 統合失調症の予後に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 女性より男性の方が予後が良い。
- 2 緊張型より破瓜型の方が予後が良い。
は か がた
- 3 急性発症より緩徐な発症の方が予後が良い。
- 4 若年発症より遅発発症の方が予後が良い。
- 5 発症誘発要因のない方が予後が良い。

問題 4 患者の訴えと精神症状に関する次の組み合わせのうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 「自分が今どこにいるか分からない」 ————— 失認
- 2 「自分の体に勝手に力が入ってしまう」 ————— 脱抑制
- 3 「自分のものでない考えが次々頭に浮かぶ」 ————— 觀念奔逸
- 4 「自分で計画して行動することができない」 ————— 遂行機能障害
- 5 「自分が何のために生きているか分からなくなる」 ————— 自我障害

問題 5 次のうち、シュナイダーの一級症状として、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 妄想知覚
- 2 被害妄想
- 3 衝動行為
- 4 作為(させられ)体験
- 5 機能性幻聴

問題 6 次のうち、電気けいれん療法を用いるものとして、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 適応障害
- 2 統合失調症
- 3 うつ病
- 4 心気障害
- 5 全般性不安障害

問題 7 治療技法とそれに関係する概念や方法に関する次の組み合わせのうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 認知療法 ————— 自由連想
- 2 森田療法 ————— オペラント条件づけ
- 3 自律訓練法 ————— 自己暗示
- 4 精神分析療法 ————— ぜったいがじょく 絶対臥禪
- 5 系統的脱感作療法 ————— 意識変容

問題 8 次のうち、環境・社会療法に含まれるものとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 作業療法
- 2 内観療法
- 3 森田療法
- 4 箱庭療法
- 5 認知行動療法

問題 9 次の記述のうち、うつ病患者が「職場が原因なのですぐに退職したい」と相談に来たときに、精神保健福祉士がまず行うべき対応として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 職場の配置換えの交渉を促す。
- 2 気晴らしに一人旅をするように勧める。
- 3 気持ちをしっかりと持つように励ます。
- 4 退職の意志を確認した上で退職を勧める。
- 5 症状が改善するまでは決めないように勧める。

問題 10 「医療観察法」に関する次の記述のうち、正しいものを 2つ選びなさい。

- 1 心神耗弱の状態は対象ではない。
- 2 保護観察所は退院後の生活環境の調整を行う。
- 3 2名の精神保健指定医の判断で入院が決定される。
- 4 「医療観察法」に基づく入院等の決定の申立ては、検察官が裁判所に行う。
- 5 措置入院の受け入れ可能な精神科病院で入院治療を行う。

(注) 「医療観察法」とは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」のことである。